



No.255

令和7年4月20日

一般社団法人
滋賀経済産業協会

〒520-0806 大津市打出浜2番1号コラボしが21 5階 TEL 077-526-3575 FAX 077-526-3577
E-mail: info@s-keisankyo.or.jp URL: https://www.s-keisankyo.or.jp

令和6年度 事業報告



石井会長

昨年度、われわれ企業は原材料高騰が続くことによるコスト上昇、成長と分配を目指すべく取り組んできた賃上げに伴う労務費上昇、人材不足など、多くの経営課題に直面してきました。また、急速に拡大する「生成AI」にどう対応していくのか、自動化など新たな技術への課題も浮上しています。働き方でも変化が見られ、自己実現や、生活・人生スタイルに合った働き方が重視されており、企業は今まで以上に変化する社会環境への対応が求められています。

さて、昨年度は「共創による価値提供の進化」をテーマに掲げ、事業を展開して参りました。事業の柱である委員会・研究会活動を通じて企業の人材育成に少しでも寄与できれば、との思いを持って取り組みました。以下、昨年度の事業概要について報告いたします。

労働雇用の分野では、経営の優先課題である人材確保に対し、令和3年度に締結したハノイ工科大学、滋賀県との三者覚書に基づき、昨年11月、第3回ベトナム・ジョブフェアを開催しました。県内企業12社が参加、滋賀県ブースは約1,500名が訪問、面接実施280名、結果として24名の採用予定に至りました。また、ハノイ工科大学生の短期就業体験を実施、就業に加え生活・文化体験を通じて互いを知る機会を設けました。また、障がい者雇用についても、企業と学

校の連携、定着への取組みなど、企業のサポートに注力しました。

厚生労働省(滋賀労働局)の受託事業「若年者地域連携事業」では、合同企業説明会・面接会を開催し、約270人の求職者を支援し、約40人の就職に至りました。また、UIJターン就職支援として5大学、約130人の学生を支援しました。高校生を対象にした職場見学会では8校、約900人の地域企業へ触れる機会を創出しました。一方、受託金額の問題や会員企業への事業効果が課題となっており、当年度で受託を終了し高校、大学との連携事業を再構築する方針です。また、地域企業の高校生採用は年々厳しさを増しており、その実態と定着の重要性を滋賀県に対し引き続きお伝えして参ります。

また、滋賀県立高等専門学校の令和10年開校に向けて、「県立高専共創フォーラム」が開催され、いよいよ構想段階から具体化へ始動しました。開校に向けた要望、意見などを反映できるように努めて参ります。

企業の新たな共創機会を目指した「滋賀県新技術・新工法展示商談会」では、計3回開催し、見積・試作は22件、商談先2企業の技術者約320人との接点を創出しました。新たな技術面の共創に対する取組みをさらに具現化したいと考えています。

各地域で開催する「地域別懇話会」は大津地区、草津・栗東・守山・野洲地区、甲賀・湖南地区の3地区



お知らせ

令和7年度 通常総会 開催案内

【開催日】令和7年5月19日(月)

通常総会 15:00~ / 講演会 16:10~

会員懇話会 17:30~

【会場】琵琶湖ホテル

テーマ:「経営者こそリスクリング~DXの加速化に向けて~」

講演: 国立大学法人滋賀大学 学長 竹村 彰通 氏

で開催しました。市町の首長、滋賀県の商工観光労働部・教育委員会、滋賀労働局が参加し、地元高校生の採用難、外国人雇用に関する生活支援、各市町の産業支援策への要望など、様々な意見交換を行い会員相互



のコミュニケーションを図りました。

会員企業数は令和6年3月末、468社(前年比+11社)となりました。これまでの企業ご紹介に対し、あらためて御礼申し上げるとともに、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。また、広報事業ではHP、経産協ニュースの見直しについて検討を重ね、来年度に内容を刷新し協会のPR強化につなげる予定です。

最後になりますが、一昨年、滋賀工業会と滋賀県経営者協会の統合により、一般社団法人滋賀経済産業協会が設立され20周年の節目を迎えました。あらためて会員企業様のご発展を祈念申し上げるとともに、行政要望や研究会事業を通じて、会員企業様のご発展に少しでも寄与できるように活動を展開して参ります。

皆様方の倍旧のご支援をお願い申し上げます。

2025大阪・関西万博

2025.7.24

滋賀県デー

びわ湖サマールーズ

Shiga Day -Lake Biwa Summer Cruise-

2025年7月24日 木

EXPO ホール「シャインハット」

滋賀県の中央部に位置するびわ湖は、京阪神地域を含む1,500万人の暮らしと産業を支える日本最大の湖です。会場の皆さまには、滋賀の子どもたちが湖上をめぐり、環境について学ぶ学習船「うみのこ」を疑似体験いただきながら、滋賀県内をめぐり、ステージ上で繰り広げられるパフォーマンスを通じて、滋賀の魅力をお伝えします。EXPOホールで、爽やかな琵琶湖の風を感じてください。

大阪・関西万博で滋賀の魅力を発信！

2025年の大阪・関西万博に向けて、滋賀県がさまざまな展示やイベントを企画しています！琵琶湖をテーマにした体験型展示や、県内企業の技術を活かしたブース、特別イベントなど、見どころが満載です。詳しくはこちら▶

